

シンポジウム 「みんなで考えよう！福祉機器の未来」  
－障害者の自立を促進する福祉機器の利活用のあり方に関する研究 成果報告－  
開催案内

主催 : 国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
後援 : 公益財団法人 テクノエイド協会  
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会  
日本福祉用具・生活支援用具協会  
日本生活支援工学会

開催趣旨：福祉機器の有効活用が障害者の生活の向上に効果があることは、日本の社会全体が認めるところとなっている。しかし、効果的に利活用されているかということ、まだまだ課題が残されていると言わざるを得ない。福祉機器には、利用者の他に、製造・販売・評価・制度・適合など多種多様な分野の人が関わっている。そこに関わるそれぞれの立場の人たちは、どうにかしたいという思いの中で日々努力をされている。本シンポジウムでは、これら多種多様な分野の人たちが、みんなで考えた時に、福祉機器の未来がどう変わるのかを議論したい。その事例として、関係者が一同に介して実施した車いすの未来を描くロードマップ作りのワークショップをご紹介します。また、義肢装具の開発から利活用まで至った成功事例として、インテリジェント膝継手を取り上げ、そこに隠された新たな機器の利活用に至るヒントについてもご紹介する。これらの事例から、利用者を交えたディスカッションを行うこととする。

日時 : 平成 25 年 1 月 26 日 (土) 11:00～17:10 (開場 10:30～)  
場所 : 国立障害者リハビリテーションセンター本館 1F 講堂 (埼玉県所沢市並木 4-1)  
交通案内 :

西武新宿線「航空公園駅東口」または「新所沢駅東口」から徒歩約 15 分

<http://www.rehab.go.jp/kanribu/japanese/access.html>

建物配置図

「本館・講堂」は当センターの病院門から入って斜め右前方の建物です

<http://www.rehab.go.jp/kanribu/japanese/haichi.html>

参加費 : 無料  
情報保障 : 手話通訳、パソコン要約筆記、磁気ループ利用可  
参加申込み :

以下、事前申込みフォームより、ご登録下さい

(当日参加も受け付けています。)

<http://ws.formzu.net/fgen/S42623368/>

問い合わせ先 〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1  
国立障害者リハビリテーションセンター  
研究所 福祉機器開発部 石渡利奈  
TEL 04-2995-3100 (内線 3132)、FAX:04-2995-3132  
Email: ishiwata-rina@rehab.go.jp

シンポジウム 「みんなで考えよう！福祉機器の未来」  
－障害者の自立を促進する福祉機器の利活用のあり方に関する研究 成果報告－  
プログラム

11:00 開会

11:10 基調講演

「ICFの視点に基づくケアマネジメントと福祉機器（補装具・福祉用具・補聴器）の活用」  
テクノエイド協会 理事長 大橋謙策

12:10～13:10 休憩

13:10 講演 「福祉用具に関する施策について」

厚生労働省 福祉用具専門官 加藤晴喜

13:40 報告 「先端福祉機器の開発から製品化まで

－インテリジェント膝継手を事例として」

－インテリジェント膝継手の開発経緯－

神戸学院大学 教授 中川昭夫

－インテリジェント膝継手の商品開発・事業化への取り組み－

ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー福祉事業推進部部長 児玉義弘

14:40～15:00 休憩

15:00 報告 「車いすの未来を考える ロードマップの作成」

筑波大学大学院 教授 小林信一

横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問 田中理

石川県リハビリテーションセンターバリアフリー推進工房 企画専門員  
北野義明

16:00 井戸端会議 「福祉機器の未来を考える」

コーディネーター 国立障害者リハビリテーションセンター 福祉機器開発部長 井上剛伸

参加者 加藤晴喜、中川昭夫、児玉義弘、小林信一、北野義明

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 研究員 硯川潤

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 顧問 諏訪基（研究代表者）

17:00 閉会